

キャラクター名 後髪 悔 (ゴカミ カイ)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	エグザイル エンジェルハイロウ		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	孤児院院長
	オプション		年齢	27	性別	男
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	31 %	
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	霧谷雄吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	11
精神	1	0	0			1	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	8		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
形状変化:剛		0				コスト3
大型拳銃	射撃	5r+6	0	形状変化LV2+5		コスト4
爆破(ブームインザホール)	射撃	5r+6	0	形状変化LV2+5	範囲+リアクション不可	コスト8 自分の頭に拳銃を打ち込み、自身の内側から光と衝撃を溢れさせる。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ウェポンケース					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
複製体	P 無知	N 不信感			
拳銃	P 信頼	N 嫌悪			
孤児院	P 庇護	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
形状変化:剛	5	3	マイナー	至近	自身			
効果:	シーン中ダメージLV*2							
オールレンジ	2	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃		
効果:	ダイス+LV個							
ウルトラボンバー	5	4	メジャー			射撃		
効果:	リアクション不可。攻撃力+LV*5+5。メインプロセス後、HPOとなる。							
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身			
効果:	戦闘移動。離脱等可							
コンセ	2	2	メジャー					
効果:	いつもの							
戦いの予感	1	2	セットアップ					
効果:	行動値+LV*10							
複製体:孤独の魔眼	1	4	オート	視界				
効果:	敵の範囲攻撃エフェクトを対象単体にして自分に							
天使の外套	★							
効果:	幻影を使い、望んだ見た目になれる							
真昼の星	★							
効果:	アナタの目はもはや望遠鏡の様によく見える							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

表向きの過去概要:
 後髪はUGNの一部の過激派が陰ながら主催していたプロジェクトの実験体である。暗殺者として、音もなく目的地にたどり着き自爆技を用いて依頼を完遂するというのがプロジェクトの本質であったが、同時に何度か管理者のミスによる事故でジャーム化しかけるということが発生していた。プロジェクトは巧妙に隠され、一部の人間のみで運営されていたが、時折発生するジャーム化しかけた際の不自然なレネゲイト値の上昇を不審に思った上層部が彼の相棒となる形でスパイを送り込む。
 紆余曲折あって彼のウルトラボンバーを無理やり止めようとする形で相棒を殺してしまった彼は自責の念に追われ、しばらくしてコンタクトをとってきたリヴァイアサンの提案に乗る形で小規模の孤児院を経営する形で支部長に昇進する。
 能力は高いが他者を倒すことしか能のない自分に対しての自意識が低く、最初に預かった子ども一人だけしか面倒を見ていない。彼もまた別の闇を抱えていることを感じており、親身になってあげたいが、自分にその価値があるのかと不安にも感じている。

彼と度重なる会話の末、お互いのために自己肯定感を上げていくことが大事だと気付けた。
 自分なんて、と落ち込むと相手もまた落ち込ませてしまうというこまで話し合えており、お互い落ち込むとお互いを諷めるような関係を、築こうと、頑張っているが、まだまだなかなかうまくいっていない部分が多い。

過去を思い出しくないため、可能な限りウルトラボンバーを用いずに戦おうとするが、しかし同時に仲間のためならば自分の頭に銃口を押し当て、自爆することも厭わない。

おまけ情報:
 孤児院の名前に後髪孤児院と名付けることも打診されたが、自分の名前ではダメだ強く抵抗。結果第1孤児院という味気ない名前に決まる。もともと別にある支部の近くに新たな支部を置く形になったため、地名は使われずに「第1孤児院支部」と命名されることになった。

以下: PCは知らない、何ならPLですら知らなくていいこと。